

令和4年3月24日

宗像市議会
議長 神谷 建一 様

建設産業常任委員会
委員長 末吉 孝

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第28号議案 宗像市附属機関設置条例の一部を改正する条例について

地方自治法の規定に基づき、新たに附属機関を設置するため、条例の一部を改正するものである。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

令和4年度から令和6年度までの3か年にかけて、次期宗像市国土利用計画及び次期宗像市都市計画マスタープランの策定、また、宗像市立地適正化計画の変更を行うため、宗像市国土利用計画等審議会を設置するものである。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第29号議案 市道路線の認定について

第30号議案 市道路線の変更について

第31号議案 市道路線の廃止について

この3議案は、道路法の規定に基づき、市道路線の認定、変更、廃止について議会の議決を求めるものである。関連があるため、一括して審査を行った。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1 大井40号線、大井22号線

宅地開発申請に伴い、大井22号線を廃止し、大井40号線を市道路線として認定する。

なお、大井40号線については、周辺の既存住宅に対する建築行為等の確保のため、完成前に市道路線として認定する。

- 2 日の里5丁目22号線
地元提案により、階段とスロープによる歩道橋整備したものを、市道路線として認定する。
- 3 桜美台19号線
宅地開発に伴い、既存の市道を延長し、終点を変更する。
- 4 光星原7号線、高浜2号線、浜山15号線
玄海ゴルフクラブの拡張等の開発計画に伴い、光星原7号線、高浜2号線の起点をそれぞれ変更し、浜山15号線を廃止する。
- 5 白石線
大島火葬場の廃止により道路の利用がなくなったため、廃止する。
- 6 その他15路線
いずれも宅地開発に伴い、整備された道路を引き取り、市道路線として認定する。

[第29号議案]

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

[第30号議案]

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

[第31号議案]

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第32号議案 宗像市公園条例の一部を改正する条例について

有料公園施設である日の里第11号公園のテニスコートを廃止することに伴い、条例の一部を改正するものである。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

テニスコートの利用が少なくテニス以外で有効利用したいとの地元提案を受け、廃止する。今後はコートを支柱やネット等を撤去し、多目的に利用できる無料施設として開放する。

【意見】

(賛成意見)

- ・地元の声を受け、執行部が時間をかけて調査した結果が今回の条例改正につながっており、執行部の尽力を高く評価する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 33 号議案 宗像市営住宅管理条例の一部を改正する条例について

公営住宅法施行令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、条例の一部を改正するものである。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

公営住宅法施行令の改正により、既婚未婚に関係なく全てのひとり親家庭を家賃算定の優遇対象とするに当たり「寡婦又は寡夫」の規定を改め「ひとり親」と定義されたことに伴い、本条例における市営住宅の優先的な入居選考の規定についても、これに合わせた文言整理を行うものである。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 34 号議案 辺地に係る公共的施設の総合整備計画について

地島辺地及び大島辺地における公共的施設の総合的かつ計画的な整備の促進に関し、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律の規定に基づき、辺地に係る公共的施設の総合整備計画について、議会の議決を求めるものである。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 現在の辺地に係る公共的施設の総合整備計画が今年度末をもって計画期間満了となるため、新たに令和 4 年度から令和 6 年度までの 3 か年を期間とする新計画を策定するものである。対象事業はハード整備事業のみで、100%が辺地対策事業債の対象となり、借入額の 80%が後年度に交付税算定の基礎に算入される。
- 2 地島地域の事業では、漁船巻揚施設改修、製氷施設整備、渡船施設改修を新規事業として計画している。
- 3 大島地域の事業では、研修等施設改修、遊歩道の階段及び防護柵設置、大島学園施設改修及び空調機整備、大島へき地保育所施設改修を新規事業として計画している。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。